

修了生の言葉

「出会い」 和泉 香

「庭、なんとかしたいなあ…」と思いながら、なかなか手をつけられずにいたところ、渡邊先生の講座を見つけ、普段行動力ゼロの私が受講申し込みをしていました。

色々受講していく中で、受講生の皆さんの知識の豊富さに圧倒され気後れしながらもなんとか頑張れたのは、学院の風景が好きで、学院までのドライブも好きで、悪戦苦闘のデザイン講座では、苦心して褒めるところを見つけ出して赤ペンコメントを書いてくださる先生や、尊敬できる暖かい仲間がいてくれたおかげです。

渡邊先生や受講生の皆さんに出会えたことに感謝です。これからいくつの植物達と出会えるのか楽しみにしながら、のんびり長く庭づくりをしていきたいと思っています。

ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いいいたします。

「Making a garden」 岡 実重

職藝学院に通って2年、渡邊先生には花、草、木を育てる知識やヒントを沢山いただきました。知るは楽しみの2年間でした。有り難うございました。

しかしながら、ザルのような脳みそからは、どんどん知識は漏れ出していき、誰かに伝えることもできません。

それでも、庭のデザインの手順や、自分の庭作りで失敗してヒントを探したときの着眼点など、九転でも再起不能にならず、何とか十起できそうな気にさせる効果はありました。

まだまだガーデナー初級以前で、門前のジジイ（小僧？）位ですが、庭作りの面白さに益々はまる一方ですので、さらに楽しい授業を期待します。

「学びの収穫」 楠 佐枝

自然をお手本にして、庭の植物を生態的に組み合わせ、植物の生きる力を最大限に引き出す方法と聞き、漠然と考え学びたいことだと思い入学しました。

植物の選び方、平面図・立面図、春の様子・冬の様子などを考えながらの作業は、久しく忘れていた色鉛筆の感触も心躍る思いがして楽しかったです。

土作りも、赤玉や腐葉土の割合、初めてのニームペレットの使い方の実習も、自分で作ってみて納得がいきました。

風の通り方、太陽の当たり方、建物のあるなしでの植物選びをすることも、思っていた以上に実感として頭に入ってきました。

広く大きく物事を見る眼を養えたことがいちばんの収穫でした。これから、我が家の庭を少しずつ作っていこうと思います。

「和風ナチュラルガーデニング」 佐藤 優子

私のガーデニング講座受講動機は、近年住み始めた実家の草むしりに追われる不協和音的な庭を、楽しみの空間にしたいとの思いでした。

この土地の庭木や灯籠や石たちと、仲良くしながらうまくやっていきたいとは思ったものの、手の施しようがなく戸惑っていました。そんなこんなで受講を続けるうちに、少しはそれぞれの持ち場でのふさわしい生き方が見えてきて、互いに寄り添える心地よいナチュラルガーデンづくりをできると思えるようになりました。

「卒業文集に寄せる言葉」 林 佳代子

もともと熱しやすく冷めやすい性格の私ですが、職藝学院の講座に通い始めてからもう3年以上が経ちました。植物の世界の奥深さと広さを知り、その巧みな生き方に感動し、いつしか目の前の小さな花から他の生き物や土の世界まで思いを巡らせるようになっていきました。講座の授業を通して、植物とはなんて賢いのかとつくづく感じています。

植物も人間と同じ、持って生まれた良さ、持ち味があります。その良さを素直に感じ、植物にとって居心地のいい環境をつくるのが人にもやさしい庭づくりにもつながると信じて、さらなる探求を続けていきたいと思います。

「尽きない植物の魅力」 広世かおり

植物を身近に感じて生きる事は本当に幸せな生き方だと思います。元気を与えてくれて、癒してくれる植物が大好きです。

分かりやすく専門的な、講義は楽しく宝物のような時間でした。渡邊先生、ありがとうございました。そして、花の好きな仲間に出会えた事に本当に感謝しています。

土の事、咲く季節、配色、株間などなど、庭作りは、沢山の事に気を配らなければいけないので、頭がいっぱいになりそうですが、一年一年経験を積み重ねてこれからも、庭を楽しもうと思っています。植物の魅力を知ってしまった私の興味は庭にとどまりそうになさそうです。

富山の自然を感じ、もっと知り、身近な庭に繋げていきたいと思っています。

「花人生」 薬師 笑子

花の輪は一生の宝物。今の私はそんな環境にあり、幸せを感じています。おかげで何とかエコロジカル・ガーデンデザイン上級にたどりつきました。これまでは、花の寄せ植えは、自分の好みに任せて花の苗を選び、デザインをしていた私。でも、人間にも個性があるように、植物が育つためには、植物の生態を知り良い環境で育てることの大切さを学びました。樹木においては、庭の骨格を作り、冬の姿を考えて、さらには根がどのように伸びていくのか生長を知ることの大切さなど学びは永遠に続きます。

先生には、たくさんのお話を教えていただき私の心を太らせることができました。これからも講座を生かして自分の花を咲かせていきたいと思っています。ありがとうございました。

「宿根草とわたし」 吉尾美枝子

草花の顔を見ながら、ぼうっと水やりをしていると癒される。それだけのわたしが、仕事からのリタイアと自宅の建て替えを機に、思い切って職藝学院に飛び込みました。とにかく片っ端から講座を受け、3年をかけてようやく自宅の庭をデザインするところまでに辿り着きました。

講座を通して、宿根草の地下での姿や生き方に感動し、植物が居心地よく育ってくれるための環境の大切さもあらためて知りました。今では、一つ一つの植物への愛情のかけ方も変わり、対面しているとその声が聞こえてくるかのように感じます。また、いっしょに学ぶ仲間たちとの交流も楽しみの一つです。経験の積み重ねから語られる何気ないアドバイスは、わたしの大切な財産となっています。

植物や素敵な仲間たちとの関わり方に心弾ませながら、宿根草のようにしっかり根を張りマイペースで学び続けていきたいと思っています。